

名東ホームニュース

発行部数
30,000部

〒465-0004 名古屋市名東区香南1-508
電話・FAX 兼用 052(775)6555
発行所 名東ホームニュース社

記事や広告掲載についてのお問い合わせは
中日新聞販売店でも受け付けています

お店のオープン、セール、求人など 効果的な折り返しのご提案いたします!

チラシ折込

株式会社 中日総合サービス

本社営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄4-145 地下鉄丸の内線 守山営業所 〒463-0007 名古屋市守山区松坂町352
TEL.052-261-2201 FAX.052-261-2220 TEL.052-758-0352 FAX.052-758-0353
<https://chunichi.nagoya/>

量・ふすま・障子・網戸・クロス スタッフ募集中
はりなし量・内装リフォームのことなら 詳細は面談で
安心の「量」のツノダにお任せ

愛知県組合加盟店 ツノダ有 検索
HP tatami-t.co.jp
創業63年、安心の地域密着のお店
〒463-0026 名古屋市守山区藤田町706
TSUNODA 株式会社 0120-81-1984

世界の動き 身近な話題
中日新聞

今号で名東ホームニュースが1000号を迎えた。ここでは、全市・全国にも影響を及ぼした弊紙の記事や、歴史の深さを感じられる記事を取り上げ、再インタビューで43年を振り返った。

読者の皆さまに支えられ 名東ホームニュース1000号

藤が丘の発展とスポーツ振興に尽力
加藤 常文さん

「名東ホームニュースのように、これほど地域密着している新聞はありませんね。地域を振り返った。



知っている人が掲載されることで、貴紙に対して親しみを感ずることが出来ます」と語

藤が丘発 全国展開読書会

「多いときは100人規模の登録者がある読書会」と、頻りに語った。同倶楽部は、藤が丘のジャズ喫茶「青猫」を主会場にスタート。2008年に最初に取材したのが弊紙だった。当時、年間の参加者は800人程度で、弊紙報道の一月後に中日新聞夕刊がトップ記事で扱い一気に認知度が広がった。



「当時、読書会と言え人に伝えていたことが大切さを日々感じています。今年度、区役所では「地域がこんなに活発に活動をしている」という情報を学区ごとに発信しました。これを市民課ロビーにも張り出し、ツイッターでの情報発信も始めました。今後も活性化のために取り組んでいきます。

三宅区長お祝いの言葉

地域の行事や情報を流し続けて、40年以上のこと。長く続けることは素晴らしいことですが、地域活動の様子を克明に伝えてくれていきます。

地域の結びつきが少なくなっている昨今、名東ホームニュースは行政が発信すべき情報を、代わりに



樋口区子連会長お祝いの言葉

1000号おめでとうございます。引き続き「継続は力なり」ですね。地域の話題をたくさん載せておられ、名東区の皆さんが楽しみにしている新聞です。今後も継続を、引き続き地域のために頑張ってください。

私自身は、ホームニュースの記事で、



着々と駅前を整備

藤が丘から文化を全国発信

読書会「文学サロン月曜会」多彩に展開

ネットが会員は80人

藤が丘のジャズ喫茶「青猫」での読書会は2013年代が中心だった

と市の体育協会会長など、数々の要職を長年歴任した。市民スポーツ祭の名東区優勝や、ジュニアスポーツクラブの選手の活躍のたびに、加藤さんの姿が弊紙に何度も登場した。

藤が丘の発展にも尽力し、愛知万博の際のリニモ工事、それに伴う名鉄エフの建て替えのために動いたこと、振興組合として愛知万博に合わせ「リニモな

か」を企画・発売した際にも何度も取材をした(リニモ建設までのルポは別の号でお伝えする予定)。

2022年、モリコロパークのこの場所にジブリパークが完成予定で、藤が丘の「ジブリタウン構想」のために動き始め、3月17日には「藤が丘まちづくり協議会」が発足した。加藤さんは行政と連携しながら、地域、行政、商店街と連携を組み藤が丘の新しい街づくりを動き始めている。

関山三喜夫さん

区内で活動を行うブコの芸術家がジャンルを超えて集う「名東区芸術文化フォーラム」。芸術の垣根を越え、オリジナル作品を区内で定期的に公演するなどの活動を続けてきた。

中心となって活動をしてきたひとりが関山三喜夫さんだ。「名東区文化協会」の副会長も務め、今年で90歳になる日本最高齢の現役ダンサーである。

同フォーラムは、名東文化小劇場の建設を知った区内のブコの芸術家が有志を募り、平成4年に立ち上げた。他区でも小劇場のオー



「約30年の文化発展を思いが手弁当で。多くの人が得て、ここ数回は若手のメンバーになるなど、の引き継ぎもわれている。

5月から企画しているのが名東場と共同企画加企画「音楽太宰治版かたまたま」。同フ

行政を動かした市民活動

佐藤 智子さん

全国に「ごみ分別をしつかりする町」として知られる名古屋。この分別が始まるきっかけのひとつが、平成9年(1997年)に平和が丘学区の住民自らが11の拠点で始めた分別回収「リサイクルステーション」だった。

当時活動を行ったのは、平和が丘学区の有志で構成される「リサイクル推進委員会」の15人。弊紙では活動スタートの数カ月後に取材した。今回は、中心となって活動に尽力した平和が丘学区保健委員長だった佐藤智子さんに話を伺った。

町倶楽部と読書会

「読書会はまたニッチなものです。が、この文化を今後も広げていければ」と山本さんは話していた。

と認める町倶楽部と読書会になった。

「読書会はまたニッチなものです。が、この文化を今後も広げていければ」と山本さんは話していた。

洋舞や民謡の歌声

芸術拠点を歩いてまわる「第三回名東芸術ウォークラリー」は斬新な企画で好評だった

「洋舞や民謡の歌声」を味わおう

名東芸術ウォークラリー

分たちでできることを」と平和が丘で始めたのがリサイクルステーションだった。立ち上げは簡単ではなかった。行政からは「そつた(前例のない)活動は地域で」と手助けを断られ、中部リサイクル運動市民会のメンバーとともに回収方法や経費の調達法の検討を始めた。

同市民の会と平和が丘の住民を交えて話し

平和が丘にリサイクルステーション

ゴミ処理の解決策は市民の手で

回収活動で地域の交流に

回収活動で地域の交流に

リサイクルステーションの準備は大変だったが、スタートは住民の理解と協力ですムズだった



回収スタート当時、家庭ごみはほとんど分別されず、ごみ問題が大きくなる一方だった。名古屋では藤前干潟の問題もあり、「自分たちでできることを」と平和が丘で始めたのがリサイクルステーションだった。立ち上げは簡単ではなかった。行政からは「そつた(前例のない)活動は地域で」と手助けを断られ、中部リサイクル運動市民会のメンバーとともに回収方法や経費の調達法の検討を始めた。

同市民の会と平和が丘の住民を交えて話し

合いを重ね、回収方法をた。平成9年リサイクルステーションをスタート。動は周囲を動かし、斬新な方法を動かした市は全国から注目を浴び、県内外から問い合わせも相次いだ。

市の回収が12年8月の活に迎えた。終に回収した資281トン。

学区での回収は予想以上だが、終日も弊紙がまでの詳細は伝えます。